

あおぼっ子 6月号

学校教育目標 夢に向かって ともに伸びる 青葉の子
重点目標 大切にしよう～自分・仲間・言葉～



令和7年5月30日
富士市立青葉台小学校
学校だより

生まれてきてよかったんだ、と子どもにエールを



青葉台地区のあちらこちらに、やまぼうしの花（実際は総苞片）がさわやかに咲いています。校章のモチーフにもなっている「やまぼうし」の花言葉は「友情」。青葉台小学校の子供たちを大切に思う地域の方々の願いが伝わってきます。



5月2日（金）には、児童会活動「1年生を迎える会」がありました。1年生が6年生と手をつないで入場すると、他の学年が拍手で迎えました。そして、青葉台小のヒーロー「アオバレンジャー」、青葉台地区キャラクター「茶助」が登場すると、みんなの歓声が上がり、楽しい雰囲気になりました。さらに、6年生考案の縦割りグループのキャラクター発表があると、令和7年度の子供たちによる児童会活動が始動したと、わくわくした気持ちになりました。6月13日（金）には、あおば祭りもあります。子供たちの創意工夫を生かし、子供たちが友達と過ごすことを存分に楽しむお祭りになるように支えていきます。

☆☆☆ 令和7年度の すてきな 縦割りキャラクターたち ☆☆☆



6月23日（月）から7月11日（金）は、「読書旬間」です。子供が本を選ぶ姿を眺めていると「頭の中に思考の地図が広がっている」「それぞれの興味関心が湧いている」と思います。「読みたい本がある」その気持ちは生活を豊かにしてくれます。

期間中は、楽しい読書委員会が読み聞かせなどの楽しい企画で読書活動を盛り上げます。校長からは、好きな本や言葉について話をしてくれた子に「レインボーしおり」をプレゼントします。

自分から話し掛けられない子には、こちらから話し掛けて、全校児童に渡します。スタジオジブリの宮崎 駿さんは、「生まれてきてよかったんだ、と子どもにエールを送るのが児童文学」と、岩波新書発行「本へのとびらー岩波少年文庫を語る」で語っていらっしやいます。そんなエールを送ってくれるような本に出会える読書旬間になるとよいです。